

ボランティア・公益活動施策 R6 事業報告および R7 事業計画(案) 特記事項

◆R6 年度 ボラポートさかた主要事業実績 ※詳細は別紙参照 **資料 1**

| 事業 | 実績 |
|--------------------|---|
| R6 公益活動支援補助金 | 実施：4 事業（申請 4 事業） |
| R6 公益活動団体協働提案負担金実施 | 実施：2 事業 |
| R7 公益活動団体協働提案負担金募集 | 採択：2 事業（申請 2 事業） |
| 夏のボランティア体験 | 7/29-8/30 実施 参加者 101 名(延 166 名)受入 48 団体(48 メニュー) |
| 公益活動関係研修会 | 参加者：延 257 名 |
| ボランティア・公益活動交流会 | 3/1 日開催 参加者：30 名 |
| 酒田市手話奉仕員育成事業 | 養成講座受講者：23 名 ステップアップ講座受講者：8 名 |
| 福祉の担い手育成事業 | 高齢者疑似体験：3 校（小学校 1、中学校 2） ※災害 VC 対応のため小学校 6 校が中止 障がい者交流体験：2 校（小学校 2） |
| 酒田市元気シニアボランティア事業 | 登録者：76 名 |
| 障がい者アート展運営 | 9/20-26 開催 来場者：717 名 |

◆R6 年度実績 特記事項

①市補助制度 申請手続きおよび新審査方法の施行

⇒申請者の負担軽減および事業への参考意見を提供

<変更内容> ・審査方法を書面審査のみに変更。団体出席および発表を省略。

※以前は 1 次審査書（書面審査+プレゼン）+2 次審査（掲示物審査）

・審査前に委員からの事前質問+参考意見を団体に通知

②R7 負担金 人件費の一部を補助対象経費に追加

⇒2 事業を採択。

・子どもの意見表明支援（3 年目）

・希少・難治性疾患と地域をつなぐプロジェクト（1 年目）

③R6 負担金 クラウドファンディング型ふるさと納税ポータルサイトで寄付募集

⇒2 事業について寄付募集。（募集期間：R6.11.1～R7.1.20）

・地域猫活動推進事業（寄付金額：78,000 円）

・子どもの意見表明支援（寄付金額：10,000 円）

※返礼品なし。サイトを通して寄付があったものを記載。

④災害ボランティア業務に従事、災害ボランティアのコーディネート

⇒ボラポートスタッフが災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）業務に従事

⇒公益大 チーム・ソーシャルワーカーズによる活動に協力

避難所での傾聴ボランティア、サロン活動

◆R6 年度 反省点

①公益活動支援補助金件数の減少

【補助件数実績】 ※R7 は申請受付時点

| | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|------|-------------|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 補助件数 | 8 件 | 9 件 | 3 件 | 4 件 | 2 件※ |
| 補助金額 | 1,036,000 円 | 1,139,000 円 | 415,000 円 | 482,000 円 | 253,000 円 |

・ R6 まで申請手続きおよび審査方法の見直し（簡便化）、活用実績の公共施設への掲示を実施したが、申請件数は低調のまま。

⇒ R7 募集では、人件費の一部の補助対象化、説明会の早期開催、Instagram での周知を実行したが、申請件数は伸びず。申請件数低調の一因と思われる募集時期や提出書類等について、R7 年度中に見直しを検討する。

※R7 は申請 3 件だったが、審査手続き中に 1 件辞退あり

②企業へのアプローチ不足(寄付等)

- ・ 登録団体の寄付募集リストを企業へ周知する予定だったが、令和 6 年 7 月 25 日からの大雨災害により延期。R7 実施を検討する。
- ・ サンロクでコミュニティファンドの創設を目指す動きがあるので注視する。

◆R7 年度 新たな取り組み

①公益活動支援補助金の募集時期等見直し

- ・ 募集時期、提出書類の見直しを検討。別紙参照。

②登録団体の寄付・ボランティア募集のリストアップおよび公開

- ・ 登録団体にアンケートをとり、寄付やボランティア募集の希望をリストアップする。
- ・ 一般、企業等へ周知し、寄付やボランティア協力を促進する。
- ・ ブックレットの更新時にアンケートを実施する。12 月に公開予定。

③情報発信の強化

【現在の情報発信方法と今後の計画】

| 方法 | 発信内容 | 発信頻度 | 今後の計画 |
|------------------|---------------------------|---------|--------------------|
| 登録者へのメール | 団体活動案内・募集、各種助成金情報等 | 週 1 回程度 | 継続 |
| ボランティア HP | 登録団体一覧、団体活動案内・募集、各種助成金情報等 | 都度 | 寄付等リスト掲載 機能強化検討 |
| ボランティア Instagram | ボランティア事業等 | 月 2・3 回 | 発信頻度向上（週 1 回） |
| ボランティアさかた通信 | ボランティア事業、補助事業視察等 | 年 9 回 | 継続 |

令和6年度事業報告について

| | 研修会、補助金・負担金事業等 | その他 | 手話奉仕員育成事業 | 福祉の担い手育成事業 (高齢者疑似体験・障がい者交流体験) | 元気シニアボランティア事業 |
|----|--|---|--|--|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> R6年度公益活動団体協働提案負担金事業開始 4 公益活動支援補助金事業申込〆切 | <ul style="list-style-type: none"> 5 桜まつり期間中の車いすの無料貸出(日和山公園)(~14) <p>車いす貸出 18件 貸出ボランティア 17名 ※雨天のため1日間中止</p> | <ul style="list-style-type: none"> 手話奉仕員養成講座受講生募集(3/16~) 9 手話奉仕員養成講座開講式(全40回) <p>申込者 23名 *前年 24名</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1 小中学校の意向調査 | <ul style="list-style-type: none"> 16 登録者募集開始 対象地区:全地区 活動対象地区:琢成、松陵、浜田、若浜、亀ヶ崎、松原、港南、富士見、泉、新堀、広野、黒森、十坂、浜中、宮野浦、鳥海、西荒瀬、平田、一條、八幡、松山、南平田、田沢 <p>登録者 76名 *前年 52名</p> |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> 8 夏のボランティア体験協力団体募集 27 公益活動支援補助金審査会 <p>団体育成型4団体申請、採択 団体間協働型 申請なし</p> | <ul style="list-style-type: none"> 10 いいいろいろ展(障がい者アート展)全体説明会 | <ul style="list-style-type: none"> 1 ステップアップ講座受講生募集 | <ul style="list-style-type: none"> 意向調査まとめ 9 顔合わせ会 ボランティア・講師との打ち合わせ、日程調整など(~12月) | <ul style="list-style-type: none"> 新規登録者と受入事業所との活動内容のマッチング(~2月) |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> 公益活動支援補助金事業の視察など(~3月予定) 17 R7年度公益活動団体協働提案負担金 団体提案型テーマ募集 行政提案型テーマ提示 17 夏のボランティア体験参加者募集 | <ul style="list-style-type: none"> 14 いいいろいろ展第1回相談会 <p>参加者(申込)101名 ※学習会を含む(学習会のみ1名) *前年100名 受入れ協力団体 48団体(48プログラム) *前年37団体(39プログラム)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 7 ステップアップ講座開講式(全20回) 全国手話検定試験の呼びかけ <p>参加者 8名 *前年 9名</p> <p>受験者数は個人申込可のため把握できず</p> | <ul style="list-style-type: none"> 意向のあった学校にて事業開始 <p>【高齢者疑似体験事業】 実施校3校(小学校1 中学校2) 生徒数12クラス 331名 実施日数7日 活動したボランティア数5名 ※他に疑似体験の申込み小学校6校、災害VC対応のため中止。</p> <p>【障がい者交流体験事業】 実施校2校(小学校2) 生徒数2クラス 40名 実施日数2日</p> <p>*前年11校(小学校10 中学校1) *前年18クラス 401名 *前年18日 *前年 9名 *前年1校(小学校1) *前年2クラス 37名 *前年2日</p> | |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> 23、24、26、29、8/1 夏のボランティア体験事前説明(90名) 25 大雨災害問合せ等の対応、災害VC対応(~11月) 29 夏のボランティア体験(~8/30) 31 公益活動団体協働提案負担金事業申込〆切 | | | | |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> 7 ボランティアコーディネーションカ3級検定事前学習会 <p>参加者 24名(検定申込者は25名)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 21 いいいろいろ展第2回相談会 | | | |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> 1 ボランティアコーディネーションカ3級検定 直前研修、検定試験 18 ボランティアコーディネーションカ3級検定事後学習会 27 NPO事務力セミナー&検定 (NPO法人市民社会サポートやまがたとの共催) <p>受験者 24名 *前年 28名</p> <p>参加者 7名</p> <p>参加者 6</p> | <ul style="list-style-type: none"> 18 いいいろいろ展作品搬入、展示(~19) 20 いいいろいろ展(出羽遊心館)(~26) 27 いいいろいろ展作品搬出 | <ul style="list-style-type: none"> 来場者 717名 ※期間中、水族館(アウター・リベラ)等のイベント、物販あり *前年 延べ754名 受付ボランティア協力者 20名 *前年 13名 参加団体 20団体 *前年 17団体 作品数 155点 *前年 164点 | | |

| | 研修会、補助金・負担金事業等 | その他 | 手話奉仕員育成事業 | 福祉の担い手育成事業 (高齢者疑似体験・障がい者交流体験) | 元気シニアボランティア事業 |
|-----|---|--|--|----------------------------------|-------------------------------------|
| 10月 | ・28 R7年度公益活動団体協働提案負担金事業の審査 (ボランティア・公益活動推進委員会の中で開催) | ・31 いいいろいろ展ふりかえり会 団体提案型1団体 行政提案型1団体から申請 | | ・上期まとめ、交通費支払 | |
| 11月 | ・15 NPO・市民活動なんでも相談会① (NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) 参加者 8名(3団体) | | ・8 ステップアップ講座閉講式 | | |
| 12月 | ・3 「NPO・市民活動運営のコツ」講座 (NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) 参加者 3名(2団体) ・16 NPO・市民活動なんでも相談会② (NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) 参加者 5名(3団体) ・「ボラポートさかた登録団体・個人会員の紹介ブックレット」発行 | | | | |
| 1月 | ・17 助成金紹介講座 (NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) ・27 NPO・市民活動なんでも相談会③ (NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) 参加者 10名(6団体) 参加者 1名(1団体) | ・23 地域福祉センター(社協)防災訓練 ・25 日向ささえあい除雪ボランティア① 参加者 24名 (地元参加者を除) | ・22 手話奉仕員養成講座打合せ | | |
| 2月 | 15 公益活動支援制度説明会 参加者 1名 *前年 29名(交流会と同日開催) 17 NPO法人の設立・解散の方法講座 (NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) 参加者 2名 ・25 NPO・市民活動なんでも相談会④ (NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) 参加者 1名(1団体) | ・8 日向ささえあい除雪ボランティア② 参加者 28名 (地元参加者を除) | ・4 手話奉仕員養成講座閉講式 23名中8名修了 (前年度は24名中11名修了) | | |
| 3月 | ・1 ボランティア・市民活動交流会 参加者 30名、15団体 *前年 31名、19団体 | | ・1 手話奉仕員養成講座参加者募集開始 | ・下期まとめ、交通費支払 | ・4~5 ポイント変換、次年度登録手続き ・18~19 商品交換 |

| | |
|-----|--|
| 通年 | ・ボランティア・市民活動などに関する相談、活動紹介 |
| その他 | ・情報発信(ホームページ、登録者への情報送信、Instagramなど) ・ボラポートさかた通信発行(9回) ※R6年度は災害VC対応のため5回発行 ・ボランティア活動保険受付など |

【参考】登録団体等の状況 ※令和7年3月末現在

| 登録団体(個人会員含む) | | メール会員 | | | FAX会員 | インスタ フォロワー数 |
|--------------|--------|-------|----|-----|-------|----------------|
| 令和5年度末 | 令和6年度末 | 個人 | 団体 | 合計 | | |
| 138 | 134 | | | | | |
| 新規登録 6 | 新規登録 5 | 204 | 65 | 269 | 2 | 202 |
| 登録解除 8 | 登録解除 9 | | | | | |

(5,505人) (5,464人)

| 相談内容 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------------|---------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 一般 | ボランティア・市民活動関連 | 12 | 32 | 39 | 67 | 71 | 38 | 11 | 15 | 20 | 8 | 14 | 21 | 348 |
| | 交流ひろば施設利用について | 4 | 4 | 3 | 2 | 4 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 25 |
| | その他 | 1 | 4 | 5 | 3 | 7 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 31 |
| 補助金 | 公益活動支援補助金 | 1 | 0 | 2 | 3 | 2 | 0 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 20 |
| | その他 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| ボランティア活動保険など | | 2 | 2 | 0 | 5 | 4 | 0 | 1 | 0 | 3 | 3 | 3 | 2 | 25 |
| 計 | | 21 | 43 | 50 | 80 | 89 | 44 | 18 | 19 | 26 | 14 | 21 | 28 | 453 |
| (参考) 令和5年度 計 | | 26 | 25 | 37 | 34 | 35 | 16 | 36 | 54 | 11 | 17 | 30 | 48 | 369 |

| 初回相談の形態 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 窓口 | 6 | 15 | 22 | 14 | 20 | 8 | 4 | 4 | 8 | 6 | 7 | 5 | 119 |
| 電話 | 11 | 24 | 22 | 53 | 66 | 31 | 13 | 15 | 15 | 5 | 14 | 17 | 286 |
| メール | 3 | 4 | 5 | 13 | 2 | 4 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 6 | 42 |
| FAX | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 他(訪問先など) | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 計 | 21 | 43 | 50 | 80 | 89 | 44 | 18 | 19 | 26 | 14 | 21 | 28 | 453 |
| (参考) 令和5年度 計 | 26 | 25 | 37 | 34 | 35 | 16 | 36 | 54 | 11 | 17 | 30 | 48 | 369 |
| (上記計のうち、コーディネート件数) | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 9 |
| (参考) 令和5年度 コーディネート件数 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |

* 補助金申請受付のみ、保険加入手続きのみは含まれない。受付時、詳細についてなどの相談があったものは含む。

| のべ対応数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 窓口 | 12 | 20 | 23 | 17 | 21 | 10 | 4 | 7 | 8 | 7 | 8 | 10 | 147 |
| 電話 | 16 | 25 | 26 | 56 | 67 | 33 | 18 | 17 | 17 | 6 | 14 | 21 | 316 |
| メール | 2 | 6 | 6 | 13 | 3 | 4 | 2 | 5 | 6 | 3 | 0 | 8 | 58 |
| FAX | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 他(訪問先など) | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 計 | 31 | 51 | 56 | 86 | 92 | 48 | 24 | 29 | 31 | 18 | 22 | 39 | 527 |
| (参考) 令和5年度 計 | 41 | 34 | 48 | 46 | 37 | 23 | 51 | 65 | 19 | 20 | 34 | 63 | 481 |

令和7年度事業計画(案)について

資料2-4

| | 研修会、補助金・負担金事業等 | その他 | 手話奉仕員育成事業 | 福祉の担い手育成事業 (高齢者疑似体験・障がい者交流) | 元気シニアボランティア事業 |
|----|--|---|--|---|---|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・R7公益活動支援補助金募集(3月～) ・R7公益活動団体協働提案負担金事業開始 ・7 公益活動支援補助金事業申込〆切 | <ul style="list-style-type: none"> ・4 桜まつり期間中の車いすの無料貸出(日和山公園)(～15) | <ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員養成講座受講生募集(3/1～) ・8 手話奉仕員養成講座開講式(全40回) | <ul style="list-style-type: none"> ・1 小中学校の意向調査 | <ul style="list-style-type: none"> ・1 登録者募集開始 対象地区:全地区 活動対象地区:琢成、松陵、浜田、若浜、亀ヶ崎、松原、港南、富士見、泉、新堀、広野、黒森、十坂、浜中、宮野浦、鳥海、西荒瀬、平田、一條、八幡、松山、南平田、田沢 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・夏のボランティア体験協力団体募集 ・26 R7公益活動支援補助金審査会 補助金募集時期見直し協議(委員会) | <ul style="list-style-type: none"> ・14 いいいろいろ展(障がい者アート展)全体説明会 | <ul style="list-style-type: none"> ・1 ステップアップ講座受講生募集 | <ul style="list-style-type: none"> ・意向調査まとめ ・16 顔合わせ会 ・ボランティア・講師との打ち合わせ、日程調整など(～12月) | <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録者と受入事業所との活動内容のマッチング(～2月) |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・R7公益活動支援補助金採択事業決定 ・公益活動支援補助金事業実施団体の視察など(～3月予定) ・R8公益活動団体協働提案負担金事業提案募集 ・夏のボランティア体験参加者募集 | <ul style="list-style-type: none"> ・18 いいいろいろ展第1回相談会 | <ul style="list-style-type: none"> ・6 ステップアップ講座開講式(全20回) ・全国手話検定試験の呼びかけ | <ul style="list-style-type: none"> ・意向のあった学校にて事業開始 | |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・26 夏のボランティア体験(～8/30) ・30 公益活動団体協働提案負担金事業申込〆切 | | | | |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・18 ボランティアコーディネーションカ3級検定事前学習会 | <ul style="list-style-type: none"> ・20 いいいろいろ展第2回相談会 | | | |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・21 ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修、検定試験 ・29 ボランティアコーディネーションカ3級検定事後学習会 | <ul style="list-style-type: none"> ・11 地域福祉センター(社協)防災訓練 ・17 いいいろいろ展作品搬入、展示(～18) ・19 いいいろいろ展(出羽遊心館)(～25) ・26 いいいろいろ展作品搬出 | <ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員養成講座打合せ | | |

| | 研修会、補助金・負担金事業等 | その他 | 手話奉仕員育成事業 | 福祉の担い手育成事業 (高齢者疑似体験・障がい者交流) | 元気シニアボランティア事業 |
|-----|---|-------------------|-------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 10月 | ・R8公益活動団体協働提案負担金事業の審査 (ボランティア・公益活動推進委員会の中で開催) 補助金募集時期見直し協議(委員会) | | ・31 ステップアップ講座閉講式 | ・上期まとめ、交通費支払 | |
| 11月 | | ・12 いいいろいろ展ふりかえり会 | | | |
| 12月 | ・公益活動に関する研修会 ・「ボラポートさかた登録団体・個人会員の紹介」ブックレット発行 ・寄付・ボランティア募集リスト公開 | | | | |
| 1月 | | ・日向ささえあい除雪ボランティア① | | | |
| 2月 | ・しりあう(^)つながる(^)何か生まれる!!かもしれない!?交流会 ～ボランティア・市民活動交流会～ | ・日向ささえあい除雪ボランティア② | ・24 手話奉仕員養成講座閉講式 | ・ふりかえり会 | |
| 3月 | | | ・手話奉仕員養成講座参加者募集開始 | ・下期まとめ、交通費支払 | ・ポイント変換、次年度登録手続き ・商品交換 |

| | |
|-----|---|
| 通年 | ・ボランティア・市民活動などに関する相談、活動紹介 |
| その他 | ・情報発信(ホームページ、登録者への情報送信、Instagramなど) ・ボラポートさかた通信発行(9回) ・ボランティア活動保険受付など |

公益活動支援補助金見直し検討

◆検討ポイント

| NO. | 項目 | 内容 | 備考 |
|-----|-------------|--------------------------|---|
| 1 | 募集時期の変更 | 下記表および別紙スケジュールを参照 | ・場合によっては推進委員会の開催時期の変更も生じる。 |
| 2 | 交付決定前から支出OK | 交付決定前の支出も補助対象とする | ・交付決定前にメイン事業が終了するものは申請不可とする（案）。 |
| 3 | 申請書類の削減 | 団体の収支予算・決算書類は提出不要とする | ・提出書類が多いと団体から意見あり。 ・鶴岡市の類似制度では団体の収支予算・決算は提出不要（山形県は要提出） |
| 4 | 周知強化 | インスタ等で通年の啓発、チラシ設置場所の拡大検討 | ・募集期間前からインスタ等で補助金の活用事業について紹介する。 ・R3以前にすでに3回活用していても、新たな取り組みであればOKであることが、あまり知られていない可能性がある。 |

◆審査制度（申請から交付決定までの期間の短縮、審査形式の見直し等）、補助金額、補助対象経費などについては、審査制度や補助対象経費を近年見直したので、今回は検討していない。

◆補助金募集時期変更パターン

| NO. | 内容 | 委員会 | 備考 |
|-----|---|--|--|
| ① | ○現行 募集3-4月上 審査5月末 | 5月末：昨年度報告+今年度計画(40分)、補助金審査(60分) 10月中-下：負担金審査(60分)、施策意見交換(40分) 2月中：今年度報告+来年度計画(60分) | ・早期の交付決定を目指した募集時期。（交付決定：6月頭） ・今年度の追加募集は交付決定時期が遅くなるため実施しない。 |
| ② | ○補助金の募集時期を変更+委員会の開催時期を変更 募集4-5月上 審査7月上 | 5月末：昨年度報告+今年度計画(60分) 7月上：補助金審査(60分) 10月中-下：負担金審査(60分)、施策意見交換(40分) | ・委員会時期が変更となり、年度末の委員会を開催しない。 ・交付決定前の支出も対象にする。（メイン事業終了は申請不可） |
| ③ | ○補助金の募集時期を変更+委員会の開催時期を変更 募集5-6月上 審査7月末 | 5月末：昨年度報告+今年度計画(60分) 7月末：補助金審査(60分) 10月中-下：負担金審査(60分)、施策意見交換(40分) | ・委員会時期が変更となり、年度末の委員会を開催しない。 ・交付決定前の支出も対象にする。（メイン事業終了は申請不可） ・他類似補助金と募集時期が重ならない。 |
| ④ | ○補助金と負担金の募集時期を合わせる 募集7-8月末 審査10月中-下 | 5月末：昨年度報告+今年度計画(60分) 10月中-下：補助金審査(60分)、負担金審査(60分) 2月中：今年度報告+来年度計画(60分)、施策意見交換 | ・10月委員会で補助金・負担金をまとめて審査する。 ・交付決定前の支出も対象にする。（メイン事業終了は申請不可） ・他類似補助金と募集時期が重ならない。 ・2週間くらいなら早めることも可能。 |

◆現行よりも募集時期を早めることは困難。（予算成立前であり、年度またいで募集する場合、委員改選や担当変更の影響が懸念されるため）

◆負担金募集時期はいずれも同じ。（募集6-7月末 審査10月中-下）

公益活動支援補助金 募集時期見直し検討(案)

R7

| 検討案 | 事業 | 項目 | 詳細 | 1月 | | | 2月 | | | 3月 | | | 4月 | | | 5月 | | | 6月 | | | 7月 | | | 8月 | | | 9月 | | | 10月 | | | 11月 | | | |
|---|-----------|-------------------|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|--|
| | | | | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | |
| ①現行 募集:3-4月/上 交付決定:6月/上 | 補助金 | 募集 3/1-4/7 | 3/1日号広報 (2月頭締切) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事前審査 4/上-5/中 | ・委員に質問・意見依頼 4/9-4/24 ・申請者に回答書等依頼 4/28-5/16 ・委員に最終審査資料送付 5/19 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 審査 5/26 | 審査 5/26-5/30 交付決定 6/上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 負担金 | 募集 6/1-7/末 | 行政提案型 6/下-7/末 団体提案型 6/1-7/末 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 団体・担当課調整 8/1-8/下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事前審査 9/1-10/3 | ・企画・財政に意見依頼 9/1-9/12 ・委員に質問・意見依頼 9/1-9/16 ・申請者に回答書等依頼 9/19-10/3 ・委員に最終審査資料送付 10/10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 審査 10/中・下 | 審査 10/中・下 採択 10/末 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②補助金募集時期変更 委員会開催時期変更 募集:4-5月/上 交付決定:7月/上 | 補助金 | 募集 4/14-5/16 | 4/1日号広報 (3月頭締切) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事前審査 5/下-6/下 | ・委員に質問・意見依頼 5/20-6/2 ・申請者に回答書等依頼 6/5-6/23 ・委員に最終審査資料送付 6/25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 審査 7/7-7/11 | 審査 7/7-7/11 交付決定 7/上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③補助金募集時期変更 委員会開催時期変更 募集:5-6月/上 交付決定:8/上 | 補助金 | 募集 5/1-6/6 | 5/1日号広報 (4月頭締切) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事前審査 6/上-7/中 | ・委員に質問・意見依頼 6/9-6/23 ・申請者に回答書等依頼 6/27-7/14 ・委員に最終審査資料送付 7/16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 審査 7/28-8/1 | 審査 7/28-8/1 交付決定 8/上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④補助金と負担金を 同委員会で審査 募集:7-8月/下 交付決定:10/下 | 補助金 | 募集 7/下-8/末 | 7/1日号広報 (6月頭締切) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事前審査 9/上-10/中 | ・委員に質問・意見依頼 ・申請者に回答書等依頼 ・委員に最終審査資料送付 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 審査 10/中-下 | 審査 10/中-下 交付決定 10/末 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (参考)やまがた社会貢献基金 (山形県) | | 募集 2/25-3/25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 公開プレゼン審査 5月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 採択 5月下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (参考)ふるさと創造基金 (荘内銀行) | | 募集 1/6-2/14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 結果通知 4月下-5月上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 贈呈式 6月上、支給 7月下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (参考)鶴岡市市民まちづくり活 動促進事業 | | 募集 前期 4/1-5/9 | 後期 7/1-7/31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 審査 前期 5月下 | 後期 8月下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※日付はR7に即して仮に設定しているものです

酒田市公益活動推進アクションプラン 成果指標・活動指標推移(R5-R9)

資料4

| 成果指標 | 計画時点 (R4.3) | R4年度 | R5年度 (年度目標) | R6年度 (年度目標) | R9目標 |
|----------------------------------|----------------|------|------------------|----------------|-------|
| 市政に参画（参加）する機会が増えた、または多いと感じる市民の割合 | 15.6% | - | 21.3% (18.5%) | 未 (21.4%) | 30.0% |
| ボランティア・市民活動に参加した市民の割合 | 19.5% | - | 20.3% (23.6%) | 未 (27.7%) | 40.0% |

※総合計画に関する市民アンケートにより算出。R4、R5は未実施。

| 基本施策 | 施策の方向 | 取り組み内容 | 活動指標 | 計画時点 (R4.3) | R4年度 (R5.3) | R5年度 (R6.3) | R6年度 (R7.3) | R9目標 |
|------------------------|------------------------------|---|----------------------------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| 基本施策1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識醸成 | ・ボランティア育成・教育の推進 ・入門講座、各種講座や研修会の開催 ・地域全体の支え合いの関係づくりや連携、研修機会の充実 ・ボランティア・公益活動に対する市民顕彰 | ボランティア・公益活動センター開催の講座受講者数 | 143人 | 196人 | 211人 | 267人 | 250人/年 |
| | ②市職員の意識醸成 | ・「協働」に係る職員の研修会の参加促進 ・ボランティア・市民活動への参加促進 | ボランティア・市民活動に参加した市職員の割合 | 46.9% | 55.7% | 49.3% | 53.3% | 60.0% |
| | ③リーダー育成 | ・地域のリーダー育成 ・組織のリーダー育成やコーディネート業務のできる人材育成 | ボランティア・公益活動センター登録団体数 | 140団体 | 140団体 | 138団体 | 134団体 | 155団体 |
| 基本施策2 活動の 環境づくり | ①ボランティア・公益活動センターの運営と機能の充実 | ・ボランティア・公益活動センター機能（相談・コーディネート等）の充実 ・交流ひろばの利用促進、登録団体の増加 ・活動拠点の検討 | ボランティア・公益活動センター利用者数 | 3,153人 | 3,235人 | 3,548人 | 4,092人 | 6,500人/年 |
| | ②市職員の意識醸成活動支援制度等の整備 | ・ボランティア活動に対する活動支援 ・公益活動団体に対する活動支援（補助金の見直し等） ・地域活動に対する活動支援 | ボランティア・公益活動センターへの相談によるコーディネート件数 | 15件 | 32件 | 8件 | 8件 | 30件/年 |
| 基本施策3 情報の 収集・発信 | ①公益活動に関する情報の収集 | ・公益活動に係る情報（資金・講座等）を収集 ・公益活動団体のネットワークによる情報収集 | ボランティア・公益活動センター登録メール会員数(個人・団体含む) | 220件 | 226件 | 237件 | 269件 | 240(個人・団体) /年 |
| | ②広報・SNS等利用した市民・公益活動団体等への情報提供 | ・公益活動団体のネットワークを活用したイベント情報の提供 ・広報紙、SNS等活用した公益活動に対する理解や認識が深まる啓発 | ボランティア・公益活動センターSNS等のフォロワー数 | 116件 (R4.12) | 125件 | 158件 | 202件 | 300件 |
| 基本施策4 参画機会の充実 | ①市民と行政との「協働」の推進 | ・公益活動団体協働提案負担金事業の実施 ・協働事業（事業協力・協定・委託・補助・女性・共催・後援等）の促進 ・大学と連携した協働の推進 | 公益活動団体協働提案負担金事業の事業ごと成果目標達成率 | - | 99.8% | 94.7% | 100.0% | 100% |
| | ②広聴機能の充実 | ・市の公益活動施策等に対する意見広聴機会の確保 ・対話型ワークショップの開催 ・パブリックコメントの実施 | 公益活動に関する意見の広聴機会の確保 | - | 1回※4 | 1回 | 1回 | 1回/年 |

R6年度 公益活動推進アクションプラン 進捗状況

| No. | 基本 施策 | 施策の 方向 | 事業 区分 | 事業名 | 担当課 | 内容 | 策定当初 (R4.3) | R4年度実績 (R5.3.31現在) | R5年度実績 (R6.3.31現在) | R6年度実績 (R7.3.31現在) | R6年度実績の評価と 今後の課題・方向性 | 最終 R9年度目標 |
|-----|-----------------|---------------|----------|--|---------------------|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---|--------------|
| 1 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 個別 | 公益活動に関する研修会 | 共生社会課 (ポラポートさかた) | 公益活動に関する研修会を実施し、市民の協働のまちづくりの意識醸成を図る。 | 受講者数 143人 | 196人 | 211人 | 257人 | 増加。夏ボラや交流会の開催、ポラポートさかた共催の中間支援団体による相談会などを実施した。ポラポートさかた主催の研修会は未実施のため、来年度は需要の把握に努め、実施するよう検討する。 | 250人/年 |
| 2 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 個別 | 夏のボランティア体験 | 共生社会課 (ポラポートさかた) | 夏休み期間中に、複数メニューの中から希望のボランティアを選択して体験できるボランティア体験会を開催し、小中高生のボランティア教育を推進する。 | 小中高生の参加者 34人 | 62人 | 67人 | 80人 | 増加。県教育委員会主催の「夏の体験ボランティア」と連携し、より周知の強化に努めたことが要因のひとつと見られる。 | 30人/年 |
| 3 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 個別 | ボランティア出前講座 | 共生社会課 (ポラポートさかた) | 小中高等を対象とした出前講座を行い、ボランティア教育の充実化を図る。 | 出前講座実施校 未実施 | 未実施 | 未実施 | 未実施 | 出前講座の依頼がなく実施していない。引き続き周知の拡大や講座内容の充実にも努める。 | 2校/年 |
| 4 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 個別 | 北前船日本遺産市民おもてなし交流事業 | 交流観光課 | 外国クルーズ船受入れなどのインバウンドに対応するため、通訳ボランティアの育成を図る。 | 実施回数 0回 | 1回 | 2回 | 1回 | 高校生や北庄内地域通訳案内士などを対象とした寄港概要等説明会や英会話研修、観光ルート作成に係る意見交換会を実施。今後も継続する。 | 2回/年 |
| 5 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 個別 | 森林ボランティア育成事業 | 農林水産課 | 森に親しみ、市民自らの手で森林を守る機運を醸成するため、ごみ拾い、松林の枝打ちおよび下刈りボランティア（年4回）の実施および市内小中学校等の森林ボランティアに協力する。 | ボランティア 参加人数 1,661人 | ボランティア 参加人数 1,730人 | ボランティア 参加人数 1,151人 | ボランティア 参加人数 1,018人 | R6年度は大雨災害により一部の活動が中止となったが、本事業は地域住民同士の交流の場となるだけでなく、次世代を担う子供たちに地域の自然環境の大切さを伝える場としても有用である。 | 2,000人/年 |
| 6 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 個別 | 中高生ボランティアへの支援 | 社会教育課 | 市主催事業（生涯学習まつりや国際交流まつりなど）やコミュニティ振興会事業への参加協力、募金活動等に取り組む中高生ボランティアの活動を支援する。 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続実施 | 継続 |
| 7 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 環境衛生功労者表彰 | 環境衛生課 | 環境衛生功労者への感謝状の贈呈を行う。 | | | | | | |
| 8 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 地域福祉推進事業（福祉の担い手育成事業（高齢者疑似体験事業・障がい者交流体験事業）） | 地域福祉課 | 小中学生が高齢者の身体的・心理的变化を、用具を使用して体験したり、障がい者との交流を通して、福祉への理解を深めるとともに、将来に向けた関わり方を学ぶ。（市社会福祉協議会に委託） | | | | | | |
| 9 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 意思疎通支援事業（手話奉仕員養成講座） | 地域福祉課 | 手話教室として、手話奉仕員養成講座及びステップアップ講座を開催し、聴覚障がいに関する理解を深め、手話奉仕員の養成を図る。（市社会福祉協議会に委託） | | | | | | |
| 11 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 前田福祉基金事業（前田福祉賞表彰） | 地域福祉課 | 故前田巖氏の遺志に基づき、社会福祉の発展のため寄与した者の表彰を行い、福祉の増進を図る。（市社会福祉協議会と共催で開催） | | | | | | |
| 12 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 読み聞かせボランティア | 保育こども園課 | 主に児童センターの「おはなしひろば」の際に絵本の読み聞かせを実施してもらい、地域で子育てを支える仕組みづくりを促進する。 | | | | | | |
| 13 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 酒田市食生活改善推進員養成講座（健康さかた21計画推進事業） | 健康課 | 地域で健康づくり支援に携わる酒田市食生活改善推進員を養成する講習会を開催し、人材の育成を図る。 | | | | | | |
| 14 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 認知症サポーター養成講座 | 高齢者支援課 | 認知症を理解し介護予防を推進する人材を育成する。 | | | | | | |
| 15 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 担い手養成講座 | 高齢者支援課 | 地域での居場所づくりや生活支援等の担い手を養成する。 | | | | | | |
| 16 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 光ヶ丘地区環境美化ボランティア | 整備課 | 光ヶ丘地区環境美化ボランティア活動を実施する。 | | | | | | |
| 17 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | ブックスタートサポーター養成 | 社会教育課 | (指定管理者)健康課・子育て支援課と連携して実施しているブックスタートで読み聞かせを通じた親子のふれあいや絆づくりを支援し、本と親しむ機会を提供するボランティアを育成する。 | | | | | | |
| 18 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 高校生ガイドボランティア支援 | 社会教育課 | (指定管理者)観光地域創生専攻の酒田南高校生がガイドボランティアとして観光案内所に駐在したり、市民や観光客を対象にガイドツアーを実施することを支援する。 | | | | | | |
| 19 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | イベント等協働開催 | 社会教育課 | (指定管理者)ミライニサポーター制度を活用し、賑わい創出を目的としたミライニでの各種イベントを協働開催する。 | | | | | | |
| 20 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | スポーツツーリズム推進事業（酒田市スポーツボランティア会への支援） | スポーツ振興課 | 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会をはじめとする市主催イベントや、各種競技大会等のスポーツイベントをサポートするボランティア人材を育成・派遣する。（ささえるスポーツ） | | | | | | |
| 21 | 1 活動の 担い手づくり | ①市民の意識 醸成 | 参考 | 建設工事における総合評価落札方式による入札制度の実施 | 契約検査課 | 事業者の公益活動における地域貢献度を評価し加算する。 | | | | | | |
| 22 | 1 活動の 担い手づくり | ②市職員の意識 醸成 | 個別 | 庁内における公益活動に関する情報（活動・資金等）の共有、発信 | 共生社会課 各課 | 公益活動に関する情報や外部団体向けの資金情報（補助金等）を庁内で共有するとともに、必要な団体への情報提供に取り組む。 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | ポラポートさかた発信情報のうち、共有したい内容を全庁に発信した。引き続き情報発信に努める。 | 実施 |
| 23 | 1 活動の 担い手づくり | ②市職員の意識 醸成 | 個別 | 市職員によるボランティア等公益活動への参加促進 | 共生社会課 各課 | 市または各団体が主催するボランティア活動や公益活動において、市職員の積極的な参加を呼びかける。 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 各課で関係ボランティア活動への参加呼びかけを実施。共生社会課では全庁で公益活動団体による活動への参加を周知した。 | 実施 |

R6年度 公益活動推進アクションプラン 進捗状況

| No. | 基本 施策 | 施策の 方向 | 事業 区分 | 事業名 | 担当課 | 内容 | 策定当初 (R4.3) | R4年度実績 (R5.3.31現在) | R5年度実績 (R6.3.31現在) | R6年度実績 (R7.3.31現在) | R6年度実績の評価と 今後の課題・方向性 | 最終 R9年度目標 |
|-----|-----------------|----------------------------|----------|-------------------------------|---------------------|--|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---|----------------|
| 24 | 1 活動の 担い手づくり | ②市職員の意 識醸成 | 参考 | 派遣研修事業 | 人事課 | 「協働」に係る市職員を対象とする研修への派遣参加を促進する。 | | | | | | |
| 25 | 1 活動の 担い手づくり | ②市職員の意 識醸成 | 参考 | 基本研修事業 | 人事課 | 「協働」に係る市職員研修を実施する。 | | | | | | |
| 26 | 1 活動の 担い手づくり | ②市職員の意 識醸成 | 参考 | 協働推進のマニュアルの整備・適 宜見直し | 共生社会課 | 公益活動団体協働提案負担金の手引きとして作成している協働推進のマニュアルについて、周知と適宜見直しを行い、協働推進を図る。 | | | | | | |
| 27 | 1 活動の 担い手づくり | ③リーダー育 成 | 個別 | 地域のリーダー研修会 | 共生社会課 (ポラポートさかた) | 地域のリーダー研修会を通してリーダーの担い手を育成する。 | 研修会数 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 例年同様、ボランティアコーディネーションカ3級検定を実施した。検定後の振り返りの学習会では、参加者で学習の共有と理解を深めた。 | 1回/年 |
| 28 | 1 活動の 担い手づくり | ③リーダー育 成 | 個別 | 地域共創人材の育成研修会参 加への呼びかけ | まちづくり推進課 | コミュニティ振興会の職員や自治会役員等へ、地域共創コーディネーター養成講座の受講への積極的な呼びかけを行い、地域のリーダー育成を行っていく。 | コミ振職員、 自治会役員等 受講者数 1人 | 2人 | 3人 | 3人 | ひとつくり・まちづくり総合交付金の人材育成加算を通し、今後もコミュニティ振興会への呼びかけを継続して行う。 | 1人/年 |
| 29 | 1 活動の 担い手づくり | ③リーダー育 成 | 個別 | 団体リーダー研修会 | 共生社会課 (ポラポートさかた) | 団体リーダー研修会の検討・実施する。 | 研修回数 1回 | 1回 | 0回 | 0回 | ポラポートさかた主催の研修会として、R6も実施できなかった。来年度は需要の把握に努め、実施するよう検討する。 | 1回/年 |
| 30 | 1 活動の 担い手づくり | ③リーダー育 成 | 参考 | 廃棄物減量等推進員研修会 | 環境衛生課 | 各地区ごとの研修会へとつなげるため、地区代表である推進員への研修会を年1回実施する。 | | | | | | |
| 31 | 1 活動の 担い手づくり | ③リーダー育 成 | 参考 | スキルアップ講座 | 社会教育課 | コミュニティ振興会の職員を対象とした研修および情報交換会を実施する。 | | | | | | |
| 32 | 2 活動の環境 づくり | ①ポラポート さかたの運営 と機能の充実 | 個別 | 公益活動団体交流会の開催 | 共生社会課 (ポラポートさかた) | 公益活動団体の交流会を開催し、団体間の交流促進や連携等による活動の活性化を促進する。 | 実施回数 0回 | 1回 | 1回 | 1回 | R6実績は30名（15団体26名、個人4名）、R5は31名（19団体27名、個人4名）。現状の開催内容に一定程度需要があり、継続して開催していくが、幅広い層の参加者、新たな参加者を巻き込めるような企画を検討する。 | 1回/年 |
| 33 | 2 活動の環境 づくり | ①ポラポート さかたの運営 と機能の充実 | 個別 | ポラポートさかた職員の研修 会受講促進 | 共生社会課 | ポラポートさかた職員の地域共創コーディネーター養成講座の受講を促進する。 | 講座受講割合 66.7% | 100% | 100% | 100% | ポラポートさかた職員全3名が地域共創コーディネーター養成講座を受講済み。 | 100% |
| 34 | 2 活動の環境 づくり | ①ポラポート さかたの運営 と機能の充実 | 個別 | ポラポートさかたによる相談 対応 | 共生社会課 (ポラポートさかた) | 公益活動に関する相談を広く受け付け、活動のマッチングやコーディネートに取り組み、公益活動の活性化を促進する。 | 相談延べ件数 1,007件 | 575件 | 481件 | 527件 | 増加。主に災害VCへの問合せや相談対応によるもの。アウトリーチ的な声掛けや、企業へのアプローチなど、より相談件数の増加を目指す。 | 1,670件 |
| 35 | 2 活動の環境 づくり | ①ポラポート さかたの運営 と機能の充実 | 個別 | ポラポートさかたの利用の減 免 | 共生社会課 | ポラポートさかたに登録した団体に対して、公益活動を推進するため交流ひろばの減免を行い、利用促進を図る。 | 利用者数 3,153人 | 3,235人 | 3,548人 | 4,092人 | 増加。引き続き周知を継続し活用を促進する。 | 6,500人/年 |
| 36 | 2 活動の環境 づくり | ①ポラポート さかたの運営 と機能の充実 | 個別 | ポラポートさかたへの公益活 動団体等登録の促進 | 共生社会課 (ポラポートさかた) | ポラポートさかたへの公益活動団体登録によるメリット(減免、情報の受発信等)をPRすることで登録を促進し、メール等を利用して登録団体からの情報提供をスムーズに行うとともに、センターの利用促進を図る。 | 団体登録数 140団体 | 140団体 | 138団体 | 134団体 | 減少傾向。R6は新規登録5件、解除9件。解除の理由は代表者の体調不良や県外転出など。登録のメリットを整理し、周知を継続して、さまざまな分野での登録促進に努める。 | 155団体 |
| 37 | 2 活動の環境 づくり | ①ポラポート さかたの運営 と機能の充実 | 参考 | ポラポートさかたへの各種手続き のオンライン申請等 | 共生社会課 (ポラポートさかた) | 団体登録・変更や各種手続きのオンライン申請等を可能にし、簡単に手続きできるようにする。 | | | | | | |
| 38 | 2 活動の環境 づくり | ①ポラポート さかたの運営 と機能の充実 | 参考 | 公益活動団体の活動拠点の検討 | 共生社会課 | 市所有施設等を有効活用した、活動拠点を検討する。 | | | | | | |
| 39 | 2 活動の環境 づくり | ②活動支援制 度等の整備 | 個別 | 公益活動支援補助金 | 共生社会課 | 市民による公益活動に対して、事業費の2/3以内(30万以内)で補助金を交付する。 | 申請団体数 10団体 | 9団体 | 3団体 | 4団体 | 昨年度と同程度。申請手続き及び審査方法の見直し(簡便化)、活用実績の公共施設への展示などを実施したが、申請件数は低調のままだった。R7募集では人件費の一部の補助対象化、SNSを活用した周知を行い、申請件数の増加を図る。 | 10団体/年 |
| 40 | 2 活動の環境 づくり | ②活動支援制 度等の整備 | 個別 | 飛島ボランティア活動支援補 助金 | まちづくり推進課 | 飛島でボランティア活動を行う団体に対し、活動支援補助金として定期船運搬費相当額を補助する。(R5要綱見直し) | 活動団体数 9団体 | 6団体 | 4団体 | 5団体 | 5団体69人で団体数増・利用者数減となった。利用者数の減少については定期船欠航による日程変更が原因であり、当初の計画通り実施できれば利用者数は増加していた。引き続き事業の周知を図る。 | 10団体/年 |
| 41 | 2 活動の環境 づくり | ②活動支援制 度等の整備 | 個別 | 酒田市緑化・美化ボランティ ア支援制度 | 共生社会課 整備課 | 道路・公園・河川等の環境美化活動を行う市民等(美化サポーター)の活動を支援する。保険加入や活動資材の提供(ゴミ袋、花のタネ、花苗、球根、肥料等)、貸与草刈り機械の貸出及び機械用燃料の支給を行う。 | 美化サポーター 登録人数 12,589人 | 12,690人 | 12,488人 | 12,469人 | 微減。R6は新規3団体(33人)、辞退3団体(52人)。団体の高齢化等により活動継続が困難となる団体が多く、今後も活動人数の減少が懸念されるが、身近な公益活動への参加の契機となりうるので継続して事業を実施する。 | 12,500人 |
| 42 | 2 活動の環境 づくり | ②活動支援制 度等の整備 | 個別 | やさしいまちづくり除雪援助 事業(除雪ボランティア) | 地域福祉課 | 自力での除雪が困難な高齢者や障がい者の方に除雪協力者(地域のボランティア)を配置し、生活通路の除雪を実施する。 | 協力者数 774人 | 協力者数 785人 | 協力者数 850人 | 協力者数 756人 | 要援助者数の減に伴い、協力者数も減となった。R6は協力者への奨励金を1日1,000円から1回当たり1,000円(ただし1日につき上限3,000円まで)と改正し、複数軒を受け持つなど1日に何度も除雪する場合の支援を厚くした。 | 協力者数 800人/年 |
| 43 | 2 活動の環境 づくり | ②活動支援制 度等の整備 | 個別 | ポラポートさかたの利用の減 免<再掲> | 共生社会課 | ポラポートさかたに登録した団体に対して、公益活動を推進するため交流ひろばの減免を行い、利用促進を図る。 | 利用者数 3,153人 | 3,235人 | 3,548人 | 4,092人 | 増加。引き続き周知を継続し活用を促進する。 | 6,500人/年 |
| 44 | 2 活動の環境 づくり | ②活動支援制 度等の整備 | 個別 | 公益活動団体協働提案負担金 <再掲> | 共生社会課 | 公益活動団体と行政が協働により社会課題・地域課題の解決に寄与する事業を企画・検討・実施し、公益活動団体に負担金を交付する。 | 事業ごと 成果目標達成率 - | 99.8% | 94.7% | 100.0% | 2団体が活用。公益活動団体と協働課との調整をサポートした。各団体の特色ある事業を市担当課と協働で実施し、それぞれの団体が当初設定した目標を達成できた。引き続き制度を運用し、活用団体が拡大するよう周知していく。 | 100% |
| 45 | 2 活動の環境 づくり | ②活動支援制 度等の整備 | 参考 | ひとつくり・まちづくり総合交 付金 | まちづくり推進課 | 地域が育んできた力を生かし、地域に合った取り組みを地域コミュニティ自らが自由に選択し実行できる交付金制度(ひとつくり・まちづくり総合交付金)により、各地域の活性化を支援する。 | | | | | | |
| 46 | 2 活動の環境 づくり | ②活動支援制 度等の整備 | 参考 | 自治会集会所施設修繕等補助 金 | まちづくり推進課 | 住民自治活動の拠点となる自治会集会所施設の修繕等に助成する。 | | | | | | |
| 47 | 2 活動の環境 づくり | ②活動支援制 度等の整備 | 参考 | 自治会空き家等見守り隊 | まちづくり推進課 | 管理不全で危険な空き家等の発見や監視などを行う空き家見守り隊を自治会で組織してもらい、市へ登録して空き家等の状況報告等を実施する自治会を対象に、見守り隊経費を交付金として支援する。 | | | | | | |

R6年度 公益活動推進アクションプラン 進捗状況

| No. | 基本 施策 | 施策の 方向 | 事業 区分 | 事業名 | 担当課 | 内容 | 策定当初 (R4.3) | R4年度実績 (R5.3.31現在) | R5年度実績 (R6.3.31現在) | R6年度実績 (R7.3.31現在) | R6年度実績の評価と 今後の課題・方向性 | 最終 R9年度目標 |
|-----|----------|-----------|----------|------------------------------------|-----------------|---|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--|--------------|
| 48 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | 世話役課長制度 | まちづくり推進課 | 自発的な地域課題解決に向けたさまざまな活動支援と、市や関係団体との連携のコーディネート役割を担ってもらうことを目的に、各コミュニティ振興会に課長級の職員を世話役課長として配置する。 | | | | | | |
| 49 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | まちをきれいにする運動 | 環境衛生課 | 市民、関係団体の積極的な参加と協力のもと、まちの美化、清掃等を行う。 | | | | | | |
| 50 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | ごみ減量化推進事業 | 環境衛生課 | 各団体へ資源再利用運動事業報償金を交付する。 | | | | | | |
| 51 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | ごみステーション整備支援事業 | 環境衛生課 | ごみステーションを新設または改築しようとする自治会に対し、その経費の一部を補助する。 | | | | | | |
| 52 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | 廃棄物減量等推進員の設置 | 環境衛生課 | ごみの減量化及び再生利用を推進するため、各地区に推進員を配置する。 | | | | | | |
| 54 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | 社会福祉協議会運営費補助事業(新・草の根事業) | 地域福祉課 | 一人暮らし高齢者等の見守り支援活動や給食提供活動、サロン活動等を、学区・地区社協を単位とした地域の民生委員、福祉協力員等が中心となり実施する。(実施主体：市社会福祉協議会、5/10補助) | | | | | | |
| 55 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | 老人クラブ助成事業 | 高齢者支援課 | 老人クラブ連合会に加入し、社会奉仕活動等を行う老人クラブに対して補助金を交付する。 | | | | | | |
| 56 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | 元気シニアボランティア事業 | 高齢者支援課 | 高齢者の介護予防と社会参加促進のため、介護施設等でのボランティア活動へポイントを付与し、市特産品等への交換を行う。 | | | | | | |
| 57 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | 手づくり公園整備事業 | 整備課 | 地域住民が地域の特色や要望等を取り入れて行う公園整備を支援する。 | | | | | | |
| 58 | 2 | 活動の環境づくり | 参考 | 多面的機能支払事業 | 農林水産課 | 水路、農道、ため池等農業用施設を維持管理するため、地域住民の共同活動及び農村環境保全活動を支援する。これにより、農業・農村が持つ多面的機能(農業以外の効用)の維持・発揮を図る。 | | | | | | |
| 59 | 3 | 情報の収集・発信 | 個別 | ポラポートさかたによる積極的な情報収集 | 共生社会課(ポラポートさかた) | 市、県、国、事業者等からの補助金等や、各公益活動団体の活動促進につなげられるような情報の積極的な収集に努める。 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 他団体からの周知依頼があったものをメールにより都度情報提供したほか、中間支援組織などのホームページなどを定期的に確認し、関係のありそうなものは適宜情報発信した。 | 実施 |
| 60 | 3 | 情報の収集・発信 | 個別 | 団体情報誌(ブックレット)の作成 | 共生社会課(ポラポートさかた) | ポラポートさかたに登録している団体の活動内容を収集し、団体情報誌(ブックレット)を作成する。 | 発行回数 1回/年 | 1回 | 1回 | 1回 | 公益活動団体の周知のため、ブックレットを作成し公共施設などに配付した。これまでもネット上でも公開しているため、ペーパーレスの観点から印刷部数の見直しを実施した。R6は200部、R5は270部。 | 1回/年 |
| 61 | 3 | 情報の収集・発信 | 参考 | 庁内における公益活動に関する情報(活動・資金等)の共有、発信(再掲) | 共生社会課 | 庁内各課に集まる公益活動に関する情報や外部団体向けの資金情報(補助金等)を情報掲示板等で情報共有するとともに、必要な団体への情報提供に取り組む。 | | | | | | |
| 62 | 3 | 情報の収集・発信 | 参考 | ポラポートさかたへの公益活動団体登録の促進(再掲) | 共生社会課 | ポラポートさかたへの公益活動団体登録によるメリット(減免、情報の受発信等)をPRすることで登録を促進し、登録団体と双方向での情報共有をスムーズに行うとともに、センターの利用促進を図る。 | | | | | | |
| 63 | 3 | 情報の収集・発信 | 個別 | ②広報・SNS等を利用した市民、公益活動団体等への情報提供 | 共生社会課(ポラポートさかた) | あらかじめメール会員として登録していただいた方に公益活動情報等を発信する。 | メール会員 (団体・個人) 220 | 226 | 237 | 269 | 増加。公益活動団体からの活動周知依頼や補助金情報等を入手した際に都度メールで情報発信した。メール以外にも、Lineなど新たな情報発信ツールの利用を検討する。 | 240 |
| 64 | 3 | 情報の収集・発信 | 個別 | ②広報・SNS等を利用した市民、公益活動団体等への情報提供 | 共生社会課(ポラポートさかた) | R3に新規開設したポラポートさかたのインスタグラム等を活用し、幅広い層への情報発信に努める。 | SNSフォロワー数 16件 (R4.12時点) | 125 | 158 | 202 | 増加。メールでの発信とは別に、写真や画像付きで発信したほうが良さそうなものを都度投稿した。来年度は情報発信頻度の向上に努める。 | 300件 |
| 65 | 3 | 情報の収集・発信 | 個別 | ②広報・SNS等を利用した市民、公益活動団体等への情報提供 | 共生社会課(ポラポートさかた) | ポラポートさかたたよりを発行し、登録メールでの送付や、行政機関、民間施設へ設置して、公益活動の情報提供を行う。 | 発行回数 9回/年 | 9回 | 9回 | 5回 | ポラポートさかたたよりを作成し、情報発信した。例年9回発行しているが、災害VC対応のため5回発行。来年度は定期的に9回発行する。 | 9回/年 |
| 66 | 3 | 情報の収集・発信 | 個別 | ②広報・SNS等を利用した市民、公益活動団体等への情報提供 | 共生社会課(ポラポートさかた) | ポラポートさかた独自のホームページを運営し、公益活動に関する情報発信に努める。 | 運営 | 運営 | 運営 | 運営 | 各種情報は速やかにホームページで公開した。より見やすいホームページとなるよう内容を検討する。 | 運営 |
| 67 | 3 | 情報の収集・発信 | 個別 | ②広報・SNS等を利用した市民、公益活動団体等への情報提供 | 各課 | 全戸配布される市の広報やホームページ、フェイスブック等それぞれの利点を生かし、市民に分かりやすい情報発信を積極的に実施する。 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 有効な発信方法を検討しながら引き続き情報発信に努める。 | 継続 |
| 68 | 3 | 情報の収集・発信 | 個別 | ②広報・SNS等を利用した市民、公益活動団体等への情報提供 | 共生社会課(ポラポートさかた) | ポラポートさかたに登録している団体の活動状況を確認し、団体情報誌(ブックレット)を発行する。 | 発行回数 1回/年 | 1回 | 1回 | 1回 | 公益活動団体の周知のため、ブックレットを作成し公共施設などに配付した。これまでもネット上でも公開しているため、ペーパーレスの観点から印刷部数の見直しを実施した。R6は200部、R5は270部。 | 1回/年 |
| 69 | 3 | 情報の収集・発信 | 参考 | 「ごみ出し情報」の発行(ごみ減量化推進事業) | 環境衛生課 | 「ごみ出し情報」を発行する。 | | | | | | |
| 70 | 3 | 情報の収集・発信 | 参考 | 子育てカレンダーの発行 | 保育こども園課 | 毎月、子育て支援にかかわる事業をカレンダー式に作成し、子育て応援団の活動も掲載し、市のホームページに掲載する。 | | | | | | |

R6年度 公益活動推進アクションプラン 進捗状況

| No. | 基本 施策 | 施策の 方向 | 事業 区分 | 事業名 | 担当課 | 内容 | 策定当初 (R4.3) | R4年度実績 (R5.3.31現在) | R5年度実績 (R6.3.31現在) | R6年度実績 (R7.3.31現在) | R6年度実績の評価と 今後の課題・方向性 | 最終 R9年度目標 |
|-----|---------------|-------------------------|----------|-----------------------------|----------|---|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--|--------------|
| 71 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 個別 | 公益活動団体協働提案負担金 | 共生社会課 | 公益活動団体と行政が協働により社会課題・地域課題の解決に寄与する事業を企画・検討・実施し、公益活動団体に負担金を交付する。 | 事業ごと 成果目標達成率 - | 99.8% | 94.7% | 100.0% | 2団体が活用。公益活動団体と協働課との調整をサポートした。各団体の特色ある事業を市担当課と協働で実施し、それぞれの団体が当初設定した目標を達成できた。引き続き制度を運用し、活用団体が拡大するよう周知していく。 | 100% |
| 72 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | 共催・後援による事業協力 | 総務課 | 事業実施者からの共催・後援許可申請に対し、市が前向きに対応することで協働事業を推進する。 | | | | | | |
| 73 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | とびしま未来協議会 | まちづくり推進課 | 島民・大学・NPO・県・市が一体となって協議会組織を運営し、防災等島民生活に密着した事項について関係者と島民による話し合いを実施する。 | | | | | | |
| 74 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | 空き家等ネットワーク協議会 | まちづくり推進課 | 不動産業者、司法書士会等の専門団体で構成される協議会と連携しながら、無料相談会の開催等を行い、空き家等の利活用を促進する。 | | | | | | |
| 75 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | きれいな川で住みよいふるさと運動 | 環境衛生課 | 市民、関係団体の積極的な参加と協力のもと、河川の美化、清掃等を行う。 | | | | | | |
| 76 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | 不法投棄防止対策推進事業 | 環境衛生課 | 不法投棄監視員（各地区 計28名）による巡視活動を実施する。 | | | | | | |
| 78 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | 日向地域支え合い活動（日向ささえあい除雪ボランティア） | 地域福祉課 | 日向地域は豪雪地域であり高齢化率も高く要介護者世帯の除雪が困難であるため、日向コミュニティ振興会では地域だけでは不足するマンパワーを補うために市民ボランティアを募集し、1月・2月に除雪ボランティアを実施しており、市も市社会福祉協議会とともに協力する。 | | | | | | |
| 79 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | 酒田交流おもてなし市民会議 | 交流観光課 | 観光・交流に関する事業者等で組織する会議を開催し、本市を訪れる国内外の観光客を歓迎し、おもてなしできる体制を構築する。 | | | | | | |
| 80 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 | 交流観光課 | 地域振興の一環として、八幡地域や飛鳥で、住民参加ワークショップやトビシマカンソウの保全活動等を実施する。 | | | | | | |
| 81 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | 男女共同参画推進事業 | 共生社会課 | 男女共同参画センター事業の市民向け啓発講座の事業委託を推進する。 | | | | | | |
| 82 | 4 参画機会の 充実 | ①市民と行政 との「協働」 の推進 | 参考 | 地域づくりワークショップ | 各課 | 大学と連携した地域づくりワークショップやフィールドワーク実施により、住民の参画機会を創出する。 | | | | | | |
| 83 | 4 参画機会の 充実 | ②広聴機能の 充実 | 個別 | 公益活動に関する意見の広聴 機会の確保 | 共生社会課 | 公益活動団体交流会等で、市の公益活動施策等に対する意見広聴の機会を設ける。 | - | 1回 | 1回 | 1回 | ボランティア・公益活動推進委員会において、公益活動等への参加促進策や平時／災害時の取り組みについてワークショップ形式で意見交換を実施した。今後も委員会や相談対応での意見広聴のほか、必要に応じて団体交流会等での実施も検討する。 | 1回/年 |
| 84 | 4 参画機会の 充実 | ②広聴機能の 充実 | 参考 | グループミーティング | 市長公室 | 市民のグループが市長や副市長と意見交換することにより、対話による市民参画のまちづくりを進める。 | | | | | | |
| 85 | 4 参画機会の 充実 | ②広聴機能の 充実 | 参考 | 提言メールによる広聴活動 | 市長公室 | 提言メールにより広聴活動を行う。 | | | | | | |
| 86 | 4 参画機会の 充実 | ②広聴機能の 充実 | 参考 | ふれあいBOXによる広聴活動 | 市長公室 | ふれあいBOXにより広聴活動を行う。 | | | | | | |
| 87 | 4 参画機会の 充実 | ②広聴機能の 充実 | 参考 | パブリックコメントの推進 | 各課 | 各課の計画等について、積極的なパブリックコメントの実施を推進する。 | | | | | | |
| 88 | 4 参画機会の 充実 | ②広聴機能の 充実 | 参考 | 計画案等に対する意見交換会等の 推進 | 各課 | 市の計画案等に対して、市民、団体等との積極的な意見交換会を行うなど、意見広聴の場を創出する。 | | | | | | |

R6
補助金

RDDin 酒田西高実行委員会

団体
育成型

事業名 高校生と経営者、市民による「酒田市企業内 RD 環境フォーラム」
 ～酒田市を、RD でも安心して働ける企業環境のある街にするために一人ひとりができること～(補助額 200,000 円)

【事業の目的】

・これまで 4 年間にわたり様々な RD(希少・難治性疾患)イベントを行い、たった今、自分や自分に近い人が RD を発症することがあり得ることを知った。しかし、自分や家族が当事者となったらどうなるのか。企業内 RD 環境の整備の必要性や社会での認知、市民の積極的な RD 学習が必要であると思い、取り組みを通して、安心して働き、住み続けられることのできる街を、高校生を含む酒田市民が考える機会とする。

【事業の内容】

○企業内 RD 環境セミナー

日時:7月27日(土) 9:30~12:30

内容:事例報告「RD プロジェクト活動と対応シミュレーション」

講演「RD 雇用と障がい者雇用の違いについて」

ディスカッション 高校生・企業関係者・市民

○企業内 RD 環境フォーラム

日時:12月21日(土) 13:00~16:00

内容:基調講演「みんなで支え合う社会のために 自分は何ができるのか」

ワークショップ・ディスカッション「安心してしあわせなくらしのために魅力ある企業とは」

アピール文作成ワークショップ

→アピール文は、市商工会議所理事会でのプレゼン、市役所フリースペースで掲示予定



▲山形県立

酒田西高校 HP 内
 RDD in 酒田西高
 実行委員会ページ

【事業の目的】

・抗がん剤治療による副作用によって頭皮脱毛などの不安やストレスを伴いながら闘病する患者
に向け『タオル帽子』を製作し医療機関に寄付する。

⇒活動を通じて、受け取られた患者の闘病生活が少しでも前向きな気持ちになれることを目的
とする。

【事業の内容】

○ケア帽子製作作業

タオル帽子 75 個を製作し、令和 7 年 3 月 10 日に日本海病院に寄付した。

日本海病院スタッフから感謝の声と、お礼状をいただいた。

⇒次年度も継続し、ケア帽子の寄付先の拡大や、需要に応じた支援の強化を目指し、患者の闘病
生活を支えるため、更に新しい支援を模索しながら活動の幅を広げていく。



庄内ウィメンズパーク SNS



▲Facebook



▲Instagram

- *日本対がん協会【ほほえみ基金】活動
認定 NPO JPOSH 乳がん検診啓発
ティッシュキャンペーン参加
- *やまがたピンクリボン運動実行委員会員

【事業の目的】

- ・全介護者における男性の割合は 35%ともいわれているが、家事や地域行事などへの参加経験が乏しい男性にとって「介護」以前に生活関連の知識不足が大きな課題であり、介護者となる前に必要な知識を身につけることが重要な社会的課題となっている。
- ・そのため、現在介護に取り組んでいる男性、今後当事者となりうる男性(女性も可)を対象としたセミナーを開催し、必要な知識の習得の機会とする。

【事業の内容】

○セミナーの開催

年 4 回開催(8 月、9 月、10 月、12 月)

料理+食事+男性向けミニ講座+健康づくり(軽体操など)

単なる研修会ではなく、食事づくりを通じた交流、歓談を盛り込み、参加することの楽しさや参加者同士の親近感を強める。

⇒延べ 23 名が参加。

講座を行う講師と参加者が一緒に料理し、食事してから講座を始めるスタイルにしたことで、講師と参加者の一体感や質問や感想を伝えやすい雰囲気が生まれ、講座の理解度を高めることにつながった。講師側からも好評。自分たちが伝えたいメッセージを、社会課題に興味のある方たちにダイレクトに伝えられる機会を創出できた。

【開催セミナー】

- 第 1 回 8/24「いざという時慌てないために」
 第 2 回 9/14「噛む力、飲み込む力が落ちるとどうなる？～その予防法について」
 第 3 回 10/12「薬の飲み合わせと副作用」
 第 4 回 12/7「リラクゼーションと身だしなみ」
 「栄養バランスに配慮した美味しいビビンバを作ろう」

定員 10名

酒田市公益活動支援補助金採択事業
おとこの介護塾

全 4 回 令和6年8月24日(土)&9月14日(土)
 & 10月12日(土)&12月7日(土)
 各回11:30-14:00

対象者 現在介護に取り組んでいる男性
 今後当事者となりうる男性及び関係者
 (女性可)

会場 〒998-0044 山形県酒田市中町3丁目4-5
 酒田市交流ひろば2階 研修室&調理室

参加費 1,000円(材料費込み)
 ※現金もしくはPayPay払い可

全体の流れ
 11:30~12:30 参加者で調理 ※さかた男塾の野菜を使用
 12:30~14:00 講話~質疑応答 (食事をしながら)

プログラム(全4回)

第1回 8月24日(土)開催
 「いざという時慌てないために」
 高橋 秀典 氏(酒田市社会福祉協議会居宅介護支援事業所)

第2回 9月14日(土)開催
 「噛む力、飲み込む力が落ちるとどうなる？～その予防法について」
 遠藤 新吾 氏・畑田 真吾 氏(北庄内食糧科)

第3回 10月12日(土)開催
 「薬の飲み合わせと副作用」
 佐藤 義剛 氏(佐藤任兵衛薬局)

第4回 12月7日(土)開催
 「リラクゼーションと身だしなみ」
 岡本 洋子 氏(備しどころRafu-ラボ)

協力：一般社団法人みどりまち文庫、株式会社瀬尾尾庭産直事務所、ボランティア団体さかた男塾

お申し込み・お問い合わせは ☎(0234)26-0089 (株式会社ブルー 内)
 一般社団法人ナカマチラボ ✉nakamachilabo@gmail.com

【事業の目的】

- ・庄内浜産海産物の認知向上と消費拡大が目的。
- ・庄内浜産の海産物全体をアピールするイベントを開催し、市内・県内外に PR するとともに、観光客増加にもつながることを期待する。

【事業の内容】

○海のマルシェの開催に伴う広報・周知

- ・ポスター、チラシ、パンフレット、店内 POP 等を作成し、イベントの広報や周知に役立てる。

◇海のマルシェ

- ・10月19日に海鮮市場北側駐車場に特設会場を設け開催。
- ・飲食店、キッチンカーを集めたフードフェア。庄内浜産の海産物を利用した料理の提供。魚の解体ショーや抽選会等を実施。

*「菅原鮮魚」、「みなと市場」、「サカタント」の三者と連携する初めての試み。

*翌日に「つや姫ハーフマラソン」があるので、参加者をおもてなしするイベントとして期待。

⇒当日悪天候により、屋内で抽選会と各飲食店の限定メニュー販売のみ実施したが、景品はすべて提供。つや姫ハーフマラソンの参加者も多く来場し、酒田の観光案内にも協力できた。



R6
負担金

労働者協同組合労協センター事業団
(実施団体) 多機能福祉施設こもれび

×

学校教育課

2年目

行政
提案型

事業名 | 学びの下支えによる、子どもの意見表明支援に向けた新しい実践 ~子どもの視点
に立った貧困・ケアラー支援、いじめ防止等への対話的アプローチ~ (補助額 500,000 円)

【事業の目的】

- ・子どもの学びの場面に世代の近い大学院生等が加わり、対話的なアプローチをすることで、子どもは受け止められることにより日ごろの不安が和らぎ、存在感が根つき、声を発しやすくなる。最終的には子どもが意見表明できるようになることを目指す(根の力)。
- ・結果として、学校が子どもたちにとって安心安全な居場所になる(副産物)。

【事業の内容】

- ・モデル校(富士見小学校)にて学校内居場所「ふらっとるーむ」を開催運営
(週2回、こもれび、公益大生対応)
- ・対話プログラム「RJ サークル」実施(富士見小学校1・2年生:11/22、1/24 開催)
- ・対話プログラム「RJ サークル」出前講座
(一條小学校3年生:12/16、1/27、第三中学校1年生:3/7)
- ・学校・地域での「対話」への研修会を開催
(8/1 教職員対象、8/2 支援者対象、1/15 地域向け)
- ・SNSによる情報発信



【事業の成果】

- ・モデル校での RJ サークル後のアンケートにより、対話が行えているかの指標(問「自分の話をよく聞いてもらえたと思いますか」「相手の話を聞くことができましたか」)が伸びていることを確認できた。



【事業の目的】

- ・猫は繁殖力が強く、年々野良猫が増え続けている。それに伴い、無責任に餌やりだけをする人と、糞尿被害等にあっている人の間で地域トラブルが多発している。不適正飼養や遺棄も増加原因のひとつである。
- ・過酷な環境で生きることを強いられた猫を増やさない為に不妊去勢手術が必要である。手術済みの猫を適正に管理することで地域トラブルを減少させる。

【事業の内容】

- ・対象学区(松陵学区)にて、重点的に TNR※を実施し、57 頭に不妊去勢手術を行った。
- ・7月に自治会長、地域住民を対象に地域猫活動推進会議説明会を開催し、地域猫活動の重要性の説明と意見交換を実施した。
- ・不妊去勢した猫の適正な餌やり、トイレ設置等のふん尿清掃、個体管理を、地域猫サポーターにレクチャーした。
- ・捕獲告知チラシや、野良猫対策(地域猫活動)協力願いのチラシを回覧することで、住民が野良猫問題に関心を持ち、意識を高めることが出来た。

【事業の成果】

- ・対象学区での苦情、相談 に対し TNR の実施率100%を達成

